

2021年8月6日

各位

三井住友信託銀行株式会社



サステナビリティ・リンク・デリバティブの契約締結について
(株式会社アシックス)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社アシックス(代表取締役社長 COO:廣田 康人、以下「アシックス」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」(※1))等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則(※2)に準拠した先物外国為替予約取引「ESG 為替予約」(以下「本件」)を締結いたしました。本件の国内上場企業との締結は、国内金融機関初(当社調べ)の取り組みとなります。

本件は、アシックスの定めるサステナビリティ目標と関連したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット(以下「SPT」)を設定し、先物外国為替予約の条件とSPTに対するアシックスのパフォーマンスとを連携させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。またSPTが未達成の際には、アシックスが定めるサステナビリティ・ビジョンに合致する団体へ当社を通じて寄付を行うことでポジティブインパクトを創出します。

アシックスは、「私たちを取り巻く環境をまもり、世界の人々とその社会に貢献する」を理念としており、CSR・サステナビリティを常に経営の根幹に据え、「Planet(環境への配慮)」と「People(人と社会への貢献)」を活動の柱に様々な目標を設定し、社会・環境に配慮した事業活動を展開しております。(※3)

本件は、以下のSPTを設定しており、当社は本件取引を通じて、アシックスによる持続可能な社会の実現に向けた活動を支援することを目指します。

SPTの内容	本件が貢献する主なSDGs
CDP(※4)の公表するCDP2023 サプライヤー・エンゲージメント評価(※5)におけるサプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボードに選出されること	 

また本件は、株式会社格付投資情報センター(代表取締役社長:山崎 宏)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性、設定したSPTの合理性について第三者意見(※6)を取得しています。

当社では、ESG 為替予約を含むサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGsの目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

以上

(※1) LMA は欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) サステナビリティ・リンク・ローン原則

サステナビリティ・リンク・ローン原則は、サステナビリティ・リンク・ローンに関する自主的なガイドラインであり、LMA 等により内容が定められております。サステナビリティ・リンク・ローン原則は、サステナビリティ・リンク・ローンに関するガイドラインを提供することで関連する金融商品等の開発を推進し、その誠実性を維持することを目標にシンジケートローン市場の主要な金融機関から構成される作業部会によって 2019 年に策定されました。

(※3) アシックスのウェブサイトをご参照ください。

ウェブサイト:<https://corp.asics.com/jp/>

サステナビリティページ:<https://corp.asics.com/jp/csr/our-approach>

(※4) CDP は、環境問題に高い関心を持つ機関投資家等の要請に基づき、企業や自治体に環境問題対策に関する情報開示を求め、また、それを通じてその対策を促すことを主たる活動としている非政府組織です。2020 年度は、運用資産規模で 106 兆米ドルに達する 515 社の機関投資家と調達規模で 4 兆米ドルに達する 150 社強の購買組織が CDP の活動に賛同しています。2020 年度は、世界の時価総額 50%強となる 9,600 社強の企業が CDP を通じて環境情報開示を行いました。これに加え、数百の自治体も CDP を通じて環境情報開示を行っています。CDP は、現在、環境問題に関して世界で最も有益な情報を提供する情報開示プラットフォームの一つとなっています。詳しくは CDP のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.cdp.net/en>

(※5) サプライヤー・エンゲージメント評価は、企業のサプライチェーン全体での気候変動・CO2 排出量削減に対する取り組みについて調査を行い、その取り組み内容に応じて格付けを行うものです。また、サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボードはサプライヤー・エンゲージメント評価における最高評価であり、CDP2020 サプライヤー・エンゲージメント評価では上位 7%の企業のみが選定されています。

(※6) 株式会社格付投資情報センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/index.html>

本文書は、当社のサステナビリティ・リンク・デリバティブの取り組みに関して一般に公開することを目的として作成されたものであり、勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。